

ヨコハマタイヤ・マニファクチャリング・タイランド (YTMT) CSRレポート

事業内容: トラック・バス用タイヤ、小型トラック用タイヤ、乗用車用タイヤの生産・販売
敷地面積: 418,029m² (工場)、1,690,000m² (テストコース)
従業員数: 2,089名 (2014年12月)
所在地: 7/216 Moo.6, Amata City Industrial Estate, Tambol Map Yang Porn, Amphur Pluakdang, Rayong Province 21140, Thailand
 TEL: +66(38)650-350~63

相談・苦情などの受付窓口:

Human Resources and Administration Dept.
 TEL: +66(38)650-350-63 FAX: +66(38)650-319



社長ご挨拶



中村 亨

当社は、横浜ゴムの中期経営計画 (GD100) において、海外における総合タイヤ (TBS、PC/LT) の生産拠点になるべく、2004年からタイ国にて事業をスタートしました。

2009年に横浜ゴムのタイヤ開発、試験能力を飛躍的に強化するために、工場から約30kmの所にタイヤプルービンググラウンド、TIRE TEST CENTER OF ASIA (TTCA) を建設。さらに2013年にWET・DRYハンドリングコースを拡充し、タイヤ評価のほぼすべてがこの地で完結できる体制となりました。

“アジアのデトロイト”と言われているタイ国をはじめ、ASEAN諸国では、モータリゼーションが凄まじい勢いで発展しており、自動車の重要部材の1つであるタイヤは、その要求性能の満足度と品質の信頼性がますます重要になっています。一方で、環境への配慮も重要で、原料の調達時から環境への負荷が少ない素材を使い、それらの特性を生かして、必要最小限のエネルギーでタイヤを生産することを目標に、商品開発、上市、生産拡大を図っています。

2007年にISO14001の認証を取得して以来、環境マネジメントシステムを機軸に、従業員全員参加による環境保全活動にも取り組んでいます。毎年、具体的な目標を定め、継続的に環境負荷の軽減活動を行うことで、各々の項目を改善しております。2011年にはISO50001 (エネルギーマネジメントシステム) の認証をタイ国で初めて取得し、省エネ・節電の継続的な改善も積極的に進めております。

環境保全の取り組みとしては、CO₂削減と地域との良好なコミュニケーションを目的に、YOKOHAMA千年の杜プロジェクトとして、植樹活動を2008年より開始し、これまでの累計植樹本数は55,000本となりました。植樹に使う苗は、当地のどんぐりから発芽させた自前の苗を使う宮脇方式の杜づくりに準じており、この方式を他社や地域の学校にも広め、サポート活動も行っています。昨年には、横浜ゴムグループ海外拠点で初めて、生物多様性活動をスタートさせることもできました。2014年3月14日にTYMT10周年を記念する感謝式を、安全祈願式典と併せて行いました。2014年度に入り、休業災害が続いていたため、全社員の75%に当たる1,500名が出席し、安全を祈願しました。10周年を迎えることができ、関係各社のご支援、ご協力に御礼申し上げます。今後も地域の皆さまに信頼され、自慢してもらえる企業となるよう先頭に立って取り組んでまいります。



組織統治

組織・体制の見直し

チームワークの良い一体感のある組織づくりを目指して、組織運営を実施しています。

2014年度は、操業開始以来10年間、各々別の組織体であったトラッ

クバス (TBS) 用タイヤ工場と、乗用車 (PCLT) 用タイヤ工場を一つの組織として統合し、現地採用のタイ人管理監督者たちによる、より一体感のある組織ができてきました。

人権

人権教育

従業員が、等しく公平に働くことができ、権利を行使できる工場づくりを目指し、各種教育を実施しています。

また、従業員と家族の健康と生活の質を改善するため、2010年から従業員に対して定期的に薬物検査を実施。2014年度は延べ1,994名 (96%) の検査を行い、60名 (3%) が陽性でした。陽性反応が出た従業員には病院で薬物依存をなくすプログラムを実施し、拡大

防止に努めています。タイでは薬物の根絶が非常に困難な状況ですが、政府が行っている「白い工場プロジェクト (White Factory Project)」とも連携しWhite Factory (Grade C) の認定を受けています。

今後も検査・対応・報告といったPDCAを回す活動を推し進めていきます。これらを通じ、コンプライアンス意識の向上を図っています。

労働安全衛生（安全衛生方針、安全衛生への取り組み）

安全衛生方針

安全衛生基本理念

安全衛生はすべての基本であり
管理者と監督者の強力なリーダーシップと
全従業員の協力のもとに労働災害防止と快適な職場づくりを目指します。

基本方針

- (1) 安全、健康で快適な設備、職場づくりを目指します。
- (2) 管理者・監督者は不安全状態・行動を見逃すことなく部下の安全を守る責務を負います。
- (3) 職場の一人ひとは職場の決め事を確実に守り、安全に徹した作業を行います。
- (4) 労働安全衛生法を始め関係する諸法令を遵守するとともに、社内規定・基準に基づき従業員の安全を確保します。
- (5) “整理・整頓は安全衛生の基本である”との考えをもとに2Sを徹底します。
- (6) 従業員の疲労やストレスを軽減するため、快適な職場環境の形成を促進します。
- (7) 工場幹部による声掛け運動で良好なコミュニケーションをつくります。
- (8) 安全衛生教育、諸活動を実施し、安全衛生意識の向上を図ると共に、協賛会社へも安全衛生方針を表明し、協力を要請します。
- (9) 労働安全衛生マネジメントシステム(OHS)により作業と設備にかかわる潜在的危険を排除し、継続的なリスク低減を図ります。

安全衛生につきましては、第一優先課題として取り組みを継続しています。労働安全衛生マネジメントシステムをベースに、公開作業観察活動・設備の本質安全活動等、人(人と仕組み)と設備、両面からの活動を展開しています。



OHSAS認証書



TIS認証書

公開作業観察活動

公開作業観察活動（通称、デモンストレーション活動）は、定常・非定常作業をみんなで観察しその中から、安全・品質等の問題点を見つけ改善していく活動です。

2014年度は7,371回のデモンストレーションを行いました。特に、弱点のある人を見つけて、1対1でかわりあいながらお互いに成長していくことを重点に置いています。



デモンストレーション活動

体感訓練とルールに見える化

自分の身は自分で守る・仲間の安全はみんなで守るを意識して、体感訓練道場を利用して、危険を危険と感じる人づくりを行っています。いろいろなルールを現場で見える化し、誰が見ても一目で理解できるような活動をしています。



体感道場



福利厚生説明会

2012年より全従業員を対象として、福利厚生・会社規則や、それらにかかわる利点等についての説明会をスタートしました。この説明会に参加した従業員からは、権利の理解が深まったとの評価を得ています。

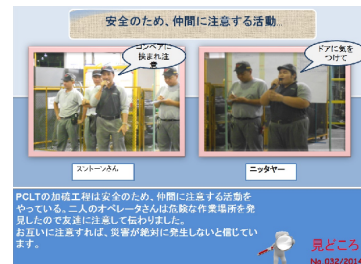


福利厚生説明会

日頃の良い活動をみんなで共有し、啓発する活動

日頃のちょっとした良い活動を実践してくれている従業員がいます。そういった従業員たちのことを知り共有することで、職場や社会で良いことを一緒に行っていく人材を育てることを狙いとしています。

- ①「自分と仲間の安全を守るために」
朝礼で、自分のヒヤリ事例を紹介し、全員の安全意識を高める。(加藤)
- ②「3Sをベースに自分の職場を守る」
始業前・チョイ手待ち時の一拾い活動



各工程で知恵を出して、全員の安全意識をあげる活動を実施している。



職制の率先垂範からオペレーターへ広げていく活動。

障がい者雇用

障がいのある人が障がいのない人と同様に、その能力・適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるような社会の実現を目指し、当社でも障がいのある人の雇用を推進しています。2008年にリーダー職として1名の方を採用、2014年にも技術課などで計3名を採用しました。

彼らからは、「良い仲間を得ることができた」「通勤が便利」など、働くことに非常に満足しているとの感想をいただいています。

組織の活性化・人材育成

タイ人管理監督者が主体となって健全なCSR経営を行っていくために、「人」を大切に育成をしていくことに重点を置いています。

2014年度は、タイ人管理者が率先して、自ら考えることをテーマの一つとして掲げて、「人材育成」に対する討論をタイ人管理者で何度も繰り返しました。この討論の中から、まず入社時の受入研修を改善し、これから組織の仲間となる新入社員を、安全で安心な環境で迎えることができました。

コミュニケーション

職場コミュニケーションとして以下の活動を実施しています。

①スポーツデイ活動

チームワークづくりを目的として、年1回のスポーツデイを設定し、サッカーや東南アジア特有のセパタクローなどの種目を行います。

②誕生日会

自慢できる会社づくりのため、毎月ささやかな誕生会を行っています。中には生まれて初めて誕生会をしてもらい、感激する従業員もいます。

③ムダ取り・QC活動

従業員自らが楽しく、自分たちの作業や仕事を改善できる活動です。

2014年度からはオペレーターだけのチームをつくり、見事、社内外のコンテストで優勝を勝ち取っており、モチベーションの向上にも寄与しています。



誕生日会



環境マネジメント

環境・エネルギー方針

- (1) 環境・エネルギーマネジメントの持続的改善を実現するため、すべての活動分野において環境に配慮した施策に取り組みます。
 - ・環境・エネルギーマネジメントシステムをすべての部門・工程、あらゆる活動に展開します。
 - ・環境・エネルギープログラムを維持改善するため各部門の役割責任を明示します。
- (2) すべての事業活動において環境負荷削減と資源の有効活用に取り組みます。
- (3) トップレベルの環境貢献企業を目指し環境保全に取り組みます。
 - ・地球温暖化防止のため温室効果ガスの排出量削減と省資源を推進します。
 - ・限りある地球資源を守るため、廃棄物の排出量削減と3R (Reduction, Reuse, Recycling) に努めます。
 - ・関連する法規制および同意した協定等を遵守します。
- (4) 地域社会とのコミュニケーションを深め、共生を目指します。
 - ・環境・エネルギーマネジメント活動の社内外における理解に努めます。
 - ・地域の皆さまからのご意見に対応します。

環境・省エネマネジメントを積極的に取得し、社内・工場の改善に取り入れています。

エネルギーマネジメントシステムISO 50001については、会社としてはタイ国で初めて2011年8月に取得しており、エネルギーパフォーマンスの改善が、認められております。

また、ISO26000に基づいた活動をスタートさせるなかで、タイ国工業省が主催している「タイ政府社会的責任推進プロジェクト CSR-DIW」に参加し、Beginners Awardを受賞しました。7つの中核主題に沿った活動を一歩ずつ進めていきます。



ISO14001認証書



ISO50001認証書

環境データ

項目	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
廃棄物発生量 (t)	2,206	2,059	1,948	2,002	2,254
埋立率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	22,611	26,060	25,094	25,190
	燃料	7,946	9,456	9,596	9,507
	合計	30,556	35,515	34,690	34,697
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	64.9	75.3	73.5	73.5	80.2
水使用量 (千m ³)	495	559	543	591	622

※年度: 1月～12月

※2008年度より温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。

化学物質の管理状況についての報告 (PRTR法への対応)

危険物の取り扱いについては、物質ごとに、保管・取り扱い (非定常時も含め) 等、要領に定められた内容で、運用・管理しています。

マネジメントシステムに基づき、定期的に確認される中で、事故等の発生もありません。

騒音、振動、臭気について

近隣住民の方からの臭気情報に対し、脱臭装置 (スクラバー) の設置を進めてきました (2010年1機設置、2011年1機設置、2012年4機設置、2014年2機設置、計8機導入)。

併せて、スタッフや守衛による工場周辺の臭気観測、地域の皆さまへの説明会、地域のご協力による臭気モニター制度、臭気対策としての植樹など改善に取り組んでいます。



乗用車用タイヤ工場側脱臭装置 (スクラバー)



トラックバス用タイヤ工場側脱臭装置 (スクラバー)



地域との情報交流会

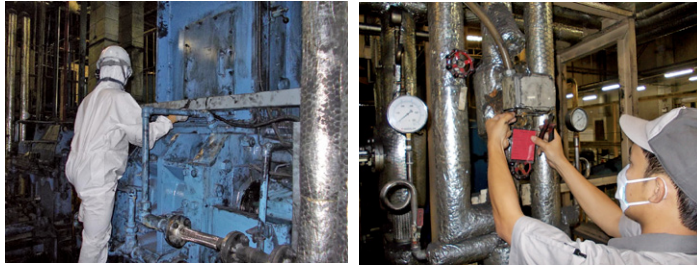


環境事故・リスク低減の取り組み

発生リスクおよび流出リスク低減のため、2014年度は特に排水に関して、最終ピット手前への排水経路に油水分離層を設置し、さらにセンサーによって常時監視をすることで、環境リスクの低減を実施しています。

リークゼロ活動

安全（止まらない設備）、省エネ活動の一環として、水・蒸気・油類・エアの漏れなし活動（＝リークゼロ活動）を展開しています。初期清掃→エフ付け→マップ作成→改善→保守継続のサイクルを回すこの活動を通じて、自身の設備を知り、好きになってもらうことを狙っています。



リークゼロ活動風景

生物多様性活動

「環境と共生」活動の一環として、YRCグループでは生物多様性保全活動を進めています。2014年度海外では最初の事業所として、生物多様性保全活動をキックオフしました。

敷地内のビオトープの池をつくり、私たちの生産活動が環境にどう寄与しているかを、トンボ・蝶類調査を通じて確認をしています。今後、地域の皆さまと全体活動にしていくべく、さらに活動を推し進めていきます。



生物多様性

公正な事業慣行

タイ国内の取引先について訪問活動を2009年より開始。2012年は28社を訪問し、コミュニケーションを図りました。活動を通して対等で公平な協力関係を築き、お互いの理解と信頼性向上に努め、より一層の発展を目指します。

消費者課題

環境貢献商品 BluEarthシリーズの生産を2011年より開始。2013年には、次期ECOS生産を開始するなど、環境貢献商品のさらなる生産比率拡大を進めています。

2012年には、タイヤブルーピンググラウンド (TIRE TEST CENTER OF ASIA (T.T.C.A.)) 敷地内にタイヤサービス・トレーニングセンターを開設、タイヤ燃費向上教育など、社外販売店の方も含め、広くタイヤについてご理解を深めていただいています。

また、ころがり抵抗試験機を2013年に導入するなど、環境貢献商品開発にも力を入れています。同時に原材料の地産地消を進めており、マイルージ（輸送ロス）低減・供給の安定を図っています。

これらの活動は、タイ洪水災害以降、活動を加速させています。

消費者とのコミュニケーション

安全啓発の一環として、タイヤ安全に関するキャンペーンを関連会社などで実施。各社の安全週間などで、活動させていただいたところ、ご好評いただきました。

また、お客さまに、どんどん工場に来ていただき、私たちのモノ作りを知っていただくことを目的として、工場見学会を積極的に促進しています。その一環として、お客さまに気持ちよく見学していただくため、心を込めたお出迎え・お見送りでおもてなしをしています。



タイヤ安全パネル



関連会社での安全キャンペーン（写真は11月Okamoto Logistic (Thailand) ,Ltd様での安全週間）

苦情などへの対応

皆さまから頂きました情報につきましては、要領に基づき、迅速に社内展開され、分析・対策等を立てて、お客さまへ、回答・対応させていただきます。



地域社会とのかかわり

2014年度は、主な活動として32件の活動を行いました。

- ・千年の杜活動をはじめ植樹指導等の環境対応活動 8件
- ・地域イベントへの参加等、地域との関係強化活動 12件
- ・寺院保全への協力等、文化保全活動 4件
- ・ボランティア・寄付等、社会貢献活動 8件



苗床（どんぐりから育てています）



植樹会オープニング

Yokohama 千年の杜 プロジェクト／環境活動

宮脇方式での杜づくりを他社や地域の学校にも広め、サポートしています。各種植樹行事への参加も積極的に行っています。

2014年は8月に、シフトごとに第7期植樹を実施しました。合計1,900名が参加し、1,500m²の土地に10,700本の苗木を植えました。



Phase	Year	Date	Area (m2)	Planting (pcs)	By own seedling	Target	Total	accomplishment	CO2 Adsorbed (kg/year)
P1	2008	12/1	1,400	7,000	5,000	100	7,000	100%	67,600
P2	2008	6/12	1,400	7,000	5,000	100	7,000	100%	67,600
P3	2010	6/22, 6/24, 6/25	1,700	8,500	6,000	100	8,500	100%	169,600
P4	2011	9/19, 9/21, 9/22	1,300	6,500	4,500	100	6,500	100%	228,800
P5	2012	5/26, 5/31, 6/16	1,300	6,500	4,500	100	6,500	100%	262,400
P6	2013	6/19, 6/21, 7/6	1,300	6,500	4,500	100	6,500	100%	262,400
P7	2014		500	2,500	1,500	100	2,500	95%	214,400
P8	2015		500	2,500	1,500	100	2,500	100%	214,400
P9	2016		1,000	5,000	3,000	100	5,000	110%	312,200
P10	2017		500	2,500	1,500	100	2,500	120%	415,200

千年の杜ロケーション



YTMT植樹



YTMT植樹



YTMT植樹



TTCA植樹



AMATA植樹



AMATA植樹

地域との関係強化活動

2014年9月、11月に工業団地近くの「Ban-Pu-Sai Primary school」に対して、グラウンドやトイレの整備活動や、廃タイヤを利用した遊具を自分たちで製作し、提供しました。



トイレの整備活動



廃タイヤを利用した遊具制作



廃タイヤ遊具で遊ぶ子どもたち

大学との交流・工場見学も実施しました。



2013年2月 King Mongkut's University Ladkrabang



文化保全活動

2014年5月、6月に、近隣のお寺 (Pra-sit-ta-ram temple) の清掃ボランティア活動を実施しました。

2014年10月に、近隣のお寺で、Tod-Kra-Tin festival の準備と寄付を実施 (Mapyangporn temple) しました。



寺院への寄付



寺院への寄付

アジアクロスカントリーに出場する青木拓磨選手 (横浜ゴムがサポート) がレース本番前のテストランのためタイを訪問しました。

7月23日に、YTMTとTTCAにも立ち寄り、従業員へダイナミックな走りを披露していただきました。従業員のモチベーションも高まり、青木選手への応援にも熱が入りました。

※青木選手は総合4位入賞。なお、1-2位は当社のタイヤGEOLANDAR装着車でした。



社会貢献活動

2014年4月に、Mab yang porn Subdistrict のソンクランイベントに参加・協力しました。



ソンクランイベントでの寄付



2014年9月に、Red Cross Society Fair. で、小学校へ家具を寄付しました。



食事の寄付

2014年10月、ラヨーン県赤十字主催の献血に参加しました。



献血風景

